

### (3) 日野南部地域

#### 1) 地域の現状

##### 【日野南部地域の概況】

本地域は、本町の南部に位置し、鈴鹿国定公園や野山に囲まれ、地域内を日野川や砂川が流れるとともに、緑豊かな自然環境と田園風景が広がる農村集落地域となっています。

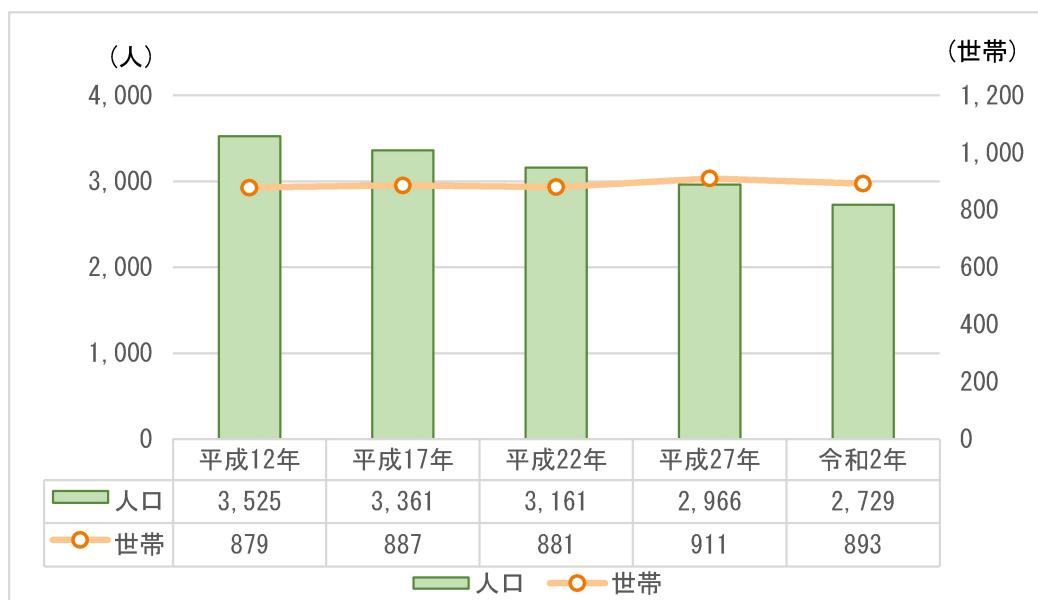
また、天然記念物である鎌掛谷ホンシャクナゲ群落や、季節に応じた花を楽しめる日野ダリア園等の観光施設を有する地域でもあります。

そして、近年では、本地域原産の特産品である日野菜の加工場が作られ、地域振興に寄与しています。

##### 【日野南部地域の人口・世帯】

本地域の人口は、平成12年から一貫して減少傾向となっており、令和2年には2,729人となっています。

一方で、世帯数は平成12年の879世帯から微増加傾向となっており、令和2年には893世帯となっています。



日野南部地域の人口・世帯

[出典：国勢調査]

## 2) 町民意向

第6次日野町総合計画策定時に行われた各地区まちづくり懇談会(令和元年10月～11月に実施)より、本計画に関わる意見は以下のとおりです。

町民意向【日野南部地域】

区分	地域や仲間とできること	対応する 都市計画分野
若者定住	●若い人が住める環境を整備する。	土地利用 市街地整備
農	●貸し農園の仕組みをつくる。	土地利用
森林	●地域と町外の参加者が共に学べる「里山ツアー」を企画・実施する。 ●里山の材木を利用して遊び場をつくる。 ●学校林を残す活動に取組む。	土地利用
空き地活用	●土地を出し合い自然を活かしたキャンプ場をつくる。	土地利用
安全な生活 道路	●横断歩道のラインが薄い場所を字や地域で点検し意見をまとめ、町へ報告する。 ●県道の防犯灯増設(3～4ヶ所)を字が町・県へ要求する。	都市施設
交通	●バスに乗り町内をまわる等の企画をする。 ●地域でシャトルバスを復活させていく。	都市施設
生活環境	●空き家の宿泊所等への利活用を前向きに考える。 ●公園や広場を増やす。	都市施設
新たな町づくり提案	●町内(第三緑ヶ丘、青葉台等)に外国人タウンをつくる。	市街地整備
風景の保全	●桜並木の保全を推進する。 ●農家を維持し、国土保全とともに景観を良くする。	景観形成
歴史	●老若男女が集まるイベントで歴史学習会を行う。	景観形成
空き家	●安全面で危険な家は、解体・建替の推進を図る。 ●空き家、空き地情報を共有し、観光客等へ発信する。 ●古民家カフェをつくる。	都市防災 ・防犯
消防 ・防災・防犯	●防犯カメラを設置する。 ●毎年防災の取組みを継続していく。 ●自主防災組織で2年に1度程度の防災(避難)訓練を行う。	都市防災 ・防犯

### 3) まちづくりの課題

町民意向等により、本地域におけるまちづくりの課題を以下のとおりとします。

まちづくりの課題【日野南部地域】

都市計画分野の項目	まちづくりの課題
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活サービスの維持・充実</li> <li>○集落環境の維持・向上と定住の促進</li> <li>○農地や里山の保全・活用</li> <li>○豊かな自然環境の保全・活用</li> <li>○レクリエーション施設の維持・充実</li> <li>○空き家の利活用と適正管理</li> </ul>
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村集落地等と中心拠点・駅前拠点を結ぶバス等の利便性の向上</li> <li>○河川やため池の環境保全と活用</li> <li>○農業集落排水及び合併浄化槽の適切な維持・管理</li> </ul>
市街地整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農村集落地の都市基盤等の維持・改修</li> <li>○移住・定住の促進のための計画的な宅地確保</li> </ul>
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国道307号沿道の景観形成</li> <li>○豊かな自然景観の保全・活用</li> <li>○鎌掛谷ホンシャクナゲ群落、日野ダリア園等の活用</li> <li>○日野川・砂川等の水辺景観の維持・向上</li> </ul>
都市防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○河川改修や排水路の適正整備・管理</li> <li>○浸水想定区域の適切な周知</li> <li>○土砂災害特別警戒区域等の適切な周知</li> <li>○地域拠点をはじめとした避難施設等の適切な確保</li> <li>○防犯及び減災に対応した地域コミュニティの維持・充実</li> </ul>

#### 4) 地域の将来像

日野南部地域の将来像を以下のように設定します。

##### 【日野南部地域の将来像】

豊かな自然と花々を活かした魅力と活力のあるまち

#### 5) 地域づくりの目標

日野南部地域づくりの目標は、まちづくりの目標（全体構想）を踏襲し、以下のとおりに設定します。

##### 若者・子育て世代から高齢者まで幅広い人にとって魅力ある住環境のあるまちづくり

###### 日野南部地域づくりの目標

- ◇豊かな自然環境を実感できる農村集落地の魅力向上による、住みたい・住み続けたいと思えるまちづくり
- ◇拠点＋ネットワークにより生活利便性の向上を図った、住み続けることのできる住環境づくり

##### 日野の大きな魅力である歴史と自然を活用した賑わいと交流のまちづくり

###### 日野南部地域づくりの目標

- ◇農村集落の暮らしと里山、豊かな自然環境と歴史観光を地場産業等の振興に活かしたまちづくり
- ◇鎌掛谷ホンシャクナゲ群落や正法寺の藤、日野ダリア園を活かした花いっぱいのまちづくり

##### 広域的交通利便性の高さと日野の資源を活かした活力あるまちづくり

###### 日野南部地域づくりの目標

- ◇自然・歴史観光や特産品の振興等による魅力的な地域産業づくり
- ◇観光や地域振興に高速交通体系の利便性の高さを活かしたまちづくり

##### 広域から日常生活まで便利に移動できるまちづくり

###### 日野南部地域づくりの目標

- ◇拠点＋ネットワークを支える安全で便利な交通体系のあるまちづくり

##### 激甚化・頻発化する災害等に対応できる安全・安心のまちづくり

###### 日野南部地域づくりの目標

- ◇自然災害等に対応した防災・減災に効果的に取組むまちづくり

## 6) まちづくりの方針

### ① 土地利用の方針

- 豊かな自然環境を支える森林資源の保全・活用を促進するため、地元や森林組合等とともに森林施業の効率化や環境整備等を図ります。
- 地域の観光資源である恵まれた自然環境を地域全体で保全・活用できる体制の確立を図ります。
- 特產品である日野菜等の作物栽培の体験学習を受入れ、関係団体と連携し、農業資源を有効活用した人と自然のふれあえる地域づくりをめざします。

### ② 都市施設整備の方針

- 県道土山蒲生近江八幡線の整備促進により広域交通網の更なる充実を図ります。
- 広域連携軸・地域連携軸の利便性・安全性の維持向上を図ります。
- 「わたむき自動車プロジェクト」の実施による観光施設への移動手段の確保も含め、バス等の公共交通機関の利便性の維持・向上を図ります。
- 河川やため池の適切な管理と水辺環境の保全を図ります。

### ③ 市街地整備の方針

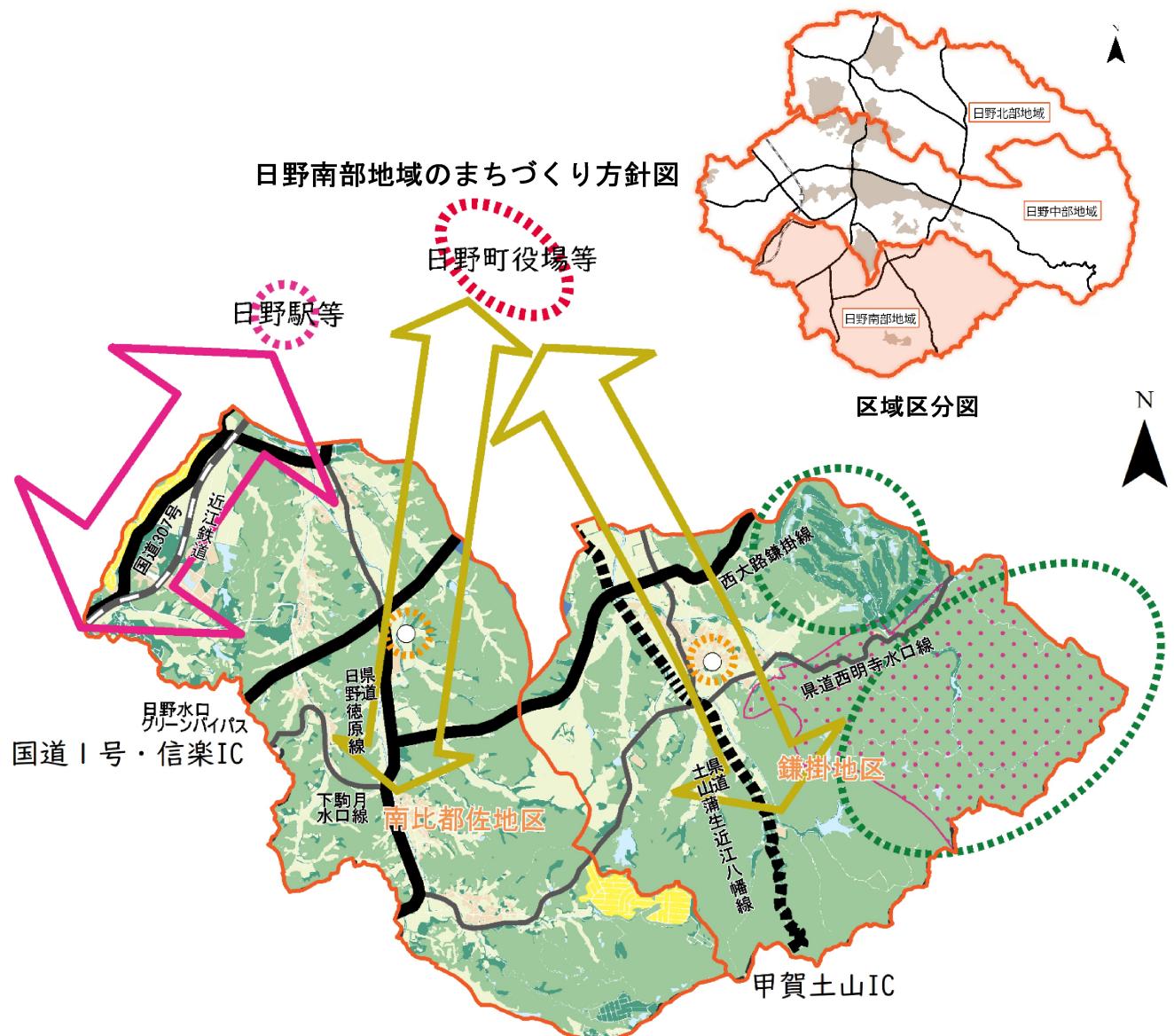
- 農用地区域の適切な見直しを含め、開発許可制度の弾力的な運用等を関係機関に働きかけ、多様な定住に対応できる住宅建築等の誘導・促進を図ります。

### ④ 景観形成の方針

- 鎌掛谷ホンシャクナゲ群落等の天然記念物を活用した自然環境の維持・保全と良好な景観の保全・活用を図ります。
- 特產品である日野菜の栽培をはじめとした農業振興と合わせた田園景観の維持・向上を図ります。
- 正法寺の藤や日野ダリア園等を活用した花いっぱいの魅力を感じる景観づくりをめざします。

### ⑤ 都市防災・防犯の方針

- 河川改修や排水路の適正整備・管理による浸水対策と浸水想定区域の適切な周知を図ります。
- 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域等の町民への適切な周知を図ります。
- 農村集落地等での空き家対策のほか、減災及び防災に対応した地域コミュニティの維持・充実を図ります。



## 凡例

■	地区界	■	森林保全地域	◆	中心拠点
□	市街化区域	■	農地	◆	駅前拠点
◎	役場	■	河川・ため池	◆	地域拠点
○	地区公民館	■	集落地域	◆	自然レクリエーション拠点
—■—	近江鐵道	■	市街地外住宅団地	↔	幹線公共交通軸
■■■■■	国定公園	■	その他	↔	生活公共交通軸
—■—	広域連携軸 (整備済・整備中)				
■■■■■	広域連携軸 (改良が必要)				
■■■■■	広域連携軸 (改良が必要)				
—■—	地域連携軸 (整備済・整備中)				